

文部科学省次世代アントレプレナー育成事業（EDGE-NEXT）

アイデアピッチコンテストとは？

名古屋大学をはじめ、東海地区（愛知県・岐阜県・三重県）および大阪大学（EDGE-NEXT協力機関）のすべての学部生・大学院生・ポストドクターを対象として、自らが温めているアイデアやビジネスプランなどを、そのまま眠らせておくのではなく、実現させていくためのコンテストを開催いたします。

アイデアは、起業をはじめ、企業とタイアップした新事業、社会貢献、学生イベントを盛り上げるためのアイデアなど、おもしろアイデアならなんでもOK。

アイデアピッチコンテストで優秀賞を獲得したアイデアは、3ヶ月をめどにマーケティング・検証等を行い、確度の高い事業計画に仕上げるための過程を学び、実践することを目指します。

優秀チーム5組には10万円の活動支援金を支給*するほか、サポーター組織／企業からの特別賞もあります。 *2019年3月末に成果報告をすることを条件とします。

さらに、特に優れたチーム（2チーム程度）には、事業化へのステップアップのため、特典として2月10日～16日（予定）におこなわれる海外（デンマーク）デザイン思考研修への挑戦権を提供します。

本コンテストは、東海東京財団のご支援により開催いたします。

コンテスト当日

【開催日時】 平成30年11月27日（火） 16:00～19:30 （19:30～20:30 懇親会）

【会 場】 名古屋工業大学 NITech Hall 2階 ラーニングコモンズ

【コンテスト内容】 応募者は、アイデアに関する3分間のピッチ（＝ショートプレゼンテーション）を行った後、審査委員より5分間の質問を受けます。

【審査方法】 審査は、申請書とプレゼンテーションを基に行います。審査項目は、以下の通りです。

- ① わくわく感（アイデア全体が魅力的である）
- ② 新規性・独創性（アイデアの特徴、競争力がある）
- ③ 市場性（市場における明確なニーズ・需要が見込まれる）
- ④ 将来性（継続的な提供、将来に向けて発展していく）

上記に加え、プレゼンテーション自体および質疑に対する応答等についても審査対象となります。

応募について

・応募期間

平成30年10月22日（月）～11月4日（日）

・応募資格

東海地区および大阪大学の学部生・大学院生またはポストドクターを代表者として構成するチーム、個人であること。

・応募方法

申請書をホームページのフォームより提出してください。

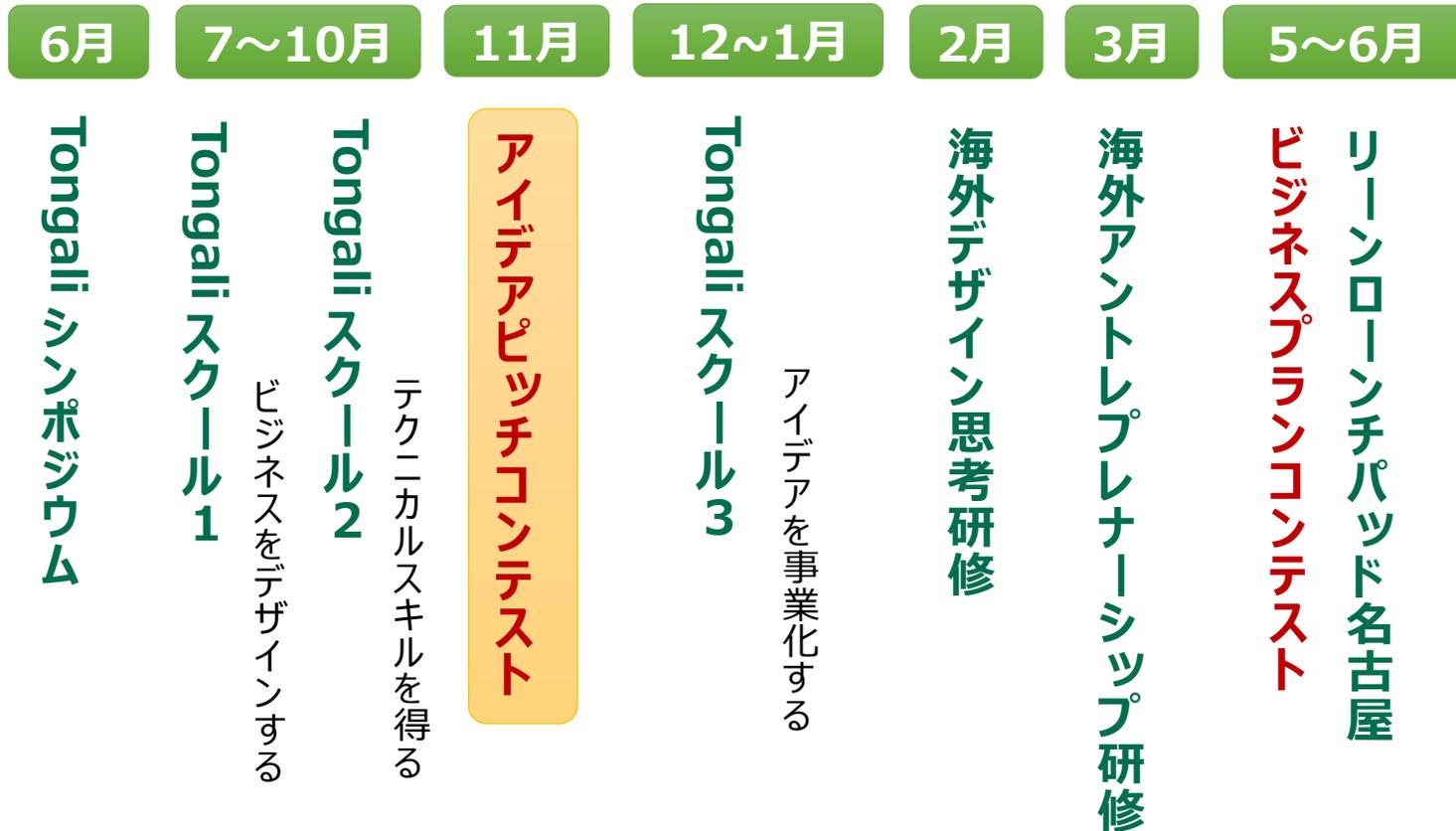
<http://tongali.aip.nagoya-u.ac.jp/pitch-contest/>

・留意点

- ・1代表者につき、1プランのみの応募です。ただし、ひとつのチームの代表者が別のチームメンバーになることは可能です。
- ・応募多数の場合は、11月16日（金）に名古屋大学にて予選会を開催予定です。
- ・アイデアを実現したいのであれば、「より多くの人にアイデアを聞いてもらうこと」が、実現への近道です。しかし、コンテストで公開する以上、優れたアイデアが剽窃・模倣される危険がゼロではありません。特許権などの知的所有権等が発生しそうな場合は、本コンテストでプレゼンする前に出願をしておくことも対策の一つです。必要であれば事前にTongaliプロジェクトにご相談ください。
- ・アイデアの著作権の侵害等については応募者の責任とし、Tongaliプロジェクトは関与しません。
- ・公序良俗の観点から適当でないと判断されたプランの評価は行いません。

コンテスト前後のスケジュール

Tongaliプロジェクト第3期は、6月16日（土）の『Tongaliシンポジウム2018』に始まり、同月末からの『Tongaliスクール』へと続いています。『Tongaliスクール1・2』でアイデアを創出する方法や特許などのスキルを身につけ、『アイデアピッチコンテスト』で自らのアイデアを発表し、その実現に向けて第一歩を踏み出すことを期待します。



『アイデアピッチコンテスト』終了後は、『Tongaliスクール3』や海外研修の機会があります。

5月には『ビジネスプランコンテスト』（活動支援金最大50万円）の開催を準備しています。その後実施する『リーンローンチパッド名古屋』では、アイデアを事業化するための方法を体験しながら身につけていきます。

ぜひ、この『アイデアピッチコンテスト』にチャレンジして、自分のアイデアを人に聴いてもらう、アイデアを実現する等、次のステップにつなげてください。

賞

- **Tongali賞（優秀賞）**（5チーム）

- 1チームにつき活動支援金10万円
- 20万円を上限に起業のための実務サポートを提供

- **サポーター賞** ※ 企業名五十音順

大和証券株式会社

中京テレビ放送株式会社

東海東京証券株式会社

名古屋市信用保証協会

日本ベンチャーキャピタル株式会社

丸紅株式会社

- **海外デザイン思考研修挑戦権**（2チーム）

採択後

- 受賞チームには、活動支援金の使用方法や今後のスケジュール等についての説明会を行います。12月4日（予備日7日）に開催しますので、必ずご参加ください。
- 受賞チームが所属する大学のURAや教員等がメンターとなり、月1回程度のチーム組成の助言を含むメンタリングを受けることを義務付けます。
- 受賞チームのアイデアについて実現性・市場性等の調査を行い、2019年3月末に開催される成果報告会での発表を行います。

審査委員 (予定) ※ 敬称略 2018/11/02現在

審査委員長	名古屋大学学術研究・産学官連携推進本部長	財満 鎮明
審査委員	ラーニング・アントレプレナーズ・ラボ株式会社 代表取締役	飯野 将人
※ 氏名五十音順	丸紅株式会社 デジタル・イノベーション部 イノベーション・市場戦略課長	上杉 理夫
	日本ベンチャーキャピタル株式会社 執行役員	北岡 侑子
	東海東京証券株式会社 副社長・投資銀行カンパニー長	竹田 正明
	セレンディップ・コンサルティング株式会社取締役	内藤 由治
	NTT西日本 オープンイノベーション推進室長	中村 正敏
	ナレッジネットワーク株式会社 代表取締役	森戸 裕一
	株式会社ミライプロジェクト 代表取締役／株式会社エイチーム 取締役	牧野 隆広
	大和証券株式会社 名古屋法人部長	諸田 英樹
過去受賞者審査委員		
	アイデアピッチコンテスト2016優秀賞受賞／名古屋大学医学部医学科4年	井上 拓海
サポーター賞審査	中京テレビ放送株式会社	
	名古屋市信用保証協会	
	丸紅株式会社	

活動支援金について

受給した活動支援金は起業活動のための資金として有効に活用し、①成果報告書、②会計報告書を提出し、精算してください。

活動支援金の交付に先立って誓約書を提出いただきます。

用途の例としては、以下を想定していますが、その他に使用する場合、事務局まで相談ください。

- (1) 調査費
- (2) 広告宣伝費・広報経費
- (3) 人件費・消耗品費・通信運搬費・賃借料・旅費・光熱水道費・印刷製品費・資料購入費
- (4) 創業に必要な機械設備・工具器具類等の購入・修繕に要する経費
- (5) プログラムの使用権取得に要する経費
- (6) 事業促進に必要な原材料費
- (7) 外注加工費

その他

以下に該当した場合は、活動支援金の一部または全額の返還を求めることがあります。

- (1) 学籍を失ったとき。
- (2) 所属する大学賞罰規定により懲戒処分を受けたとき。
- (3) 起業活動に関する報告義務（成果報告書、決算報告書）が履行されないとき。
- (4) 傷病その他の事由により起業活動を中断したとき。
- (5) 予定していた起業計画の実践が著しく遅れたとき。
- (6) その他、活動支援金の趣旨に著しく反すると判断したとき。